



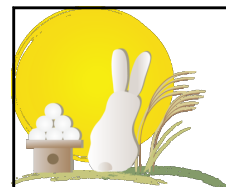
むげんだい 大限夢

平成27年9月25日(金) vol.19



秋の夜長を楽しみましょう・・・

秋の風物詩「中秋の名月」。日本の秋の夜長を楽しむ行事と言えば、十五夜の「お月見」です。日本では十五夜の月を「中秋の名月」と呼んでいます。今年、明後日の9月27日(日)がお月見の日にあたります。しかし、この時期は秋の長雨の時期と重なって、昔からあまり天候が良くなかったようです。江戸時代の書物には「中秋の名月、十年に九年は見えず」のような記述もあるほどだそうです。そんな時には、「月に代わって、お仕置きよ！」の台詞で有名なセーラームーンに登場してもらいましょう。(笑)



自分を成長させるために切磋琢磨！

イソップ童話に出てくる「アリとキリギリス」のお話をご存じでしょうか？おおよそ、こんな感じです。「夏の間、アリたちは冬の食料を蓄えるために働き続け、キリギリスはバイオリンを弾き、歌を歌って過ごす。やがて冬が来て、キリギリスは食べ物を探すが見つからず、最後にアリたちに乞い、食べ物を分けてもらおうとするが、アリは「夏には歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだい？」と食べ物を分けることを拒否し、キリギリスは飢え死んでしまう。」



働き者のアリのように、真面目にコツコツと頑張ることの大切さを教えてくれています。では、「アリは本当によく働くのでしょうか？」ある大学の研究で、たいへん興味深い結果が報告されています。

「働きアリの法則」というのがあります。100匹の働きア리를細かく観察すると、そのうちの2割がよく働き、6割が普通に働き、2割が全く働かない状態になるそうです。ならば、働かないアリ2割を取り除けば、精鋭の集団になると思われるかも知れません。そこで、働かないアリ2割を実際にそこから取り除くとどうなるでしょう？なんと、残った8割のうち、2割が良く働き、6割が普通に働き、2割が再び全く働かないようになるそうです。常に「2：6：2」の比率になるとのことです。これが人間の実社会における集団においても当てはまることから、この2対6対2の状態を「働きアリの法則」と呼ぶそうです。

さて、みなさんはどのアリのタイプでしょうか？よく働くアリなら「アリがとう」、普通に働くアリなら「それでもアリか！」、働かないアリなら「アリ得ない」ですね。(笑) みなさんには、何事に対しても真面目に正直に生きる道を選択してほしいものです。

話の話題を変えてもう一つ、養殖ウナギにまつわるこんな、エピソードが・・・。

ウナギの稚魚は、関空や成田に空輸されるそうですが、様々なストレスにより輸送中に90%が死んでしまいます。生存率が1割というのは、余りにも効率が悪いので、色々と試行錯誤した挙げ句、ウナギの稚魚の天敵・ナマズを同じ水槽に入れてみたそうです。その結果、驚くべきことにうなぎの稚魚の生存率は8割に向上したそうです。確かに天敵のナマズに2割は食べられてしまいましたが、天敵に相対することでウナギの稚魚が活性化し、死ぬものが激減したそうです。

人間社会でも、こういうことってあると思いませんか？

毎日、居心地のいい場所で生活していると、安心が行き過ぎてしまい、ついついぬるま湯につかってしまうことが…。しかし、ナマズのような天敵が入ることで、緊張感がはりめぐらされ、それによって組織が活性化されるわけです。つまり、時には厳しい環境や新しいことにチャレンジすることが大切であるということです。当然、勇気やエネルギーが必要なことですが、その経験は必ずや自分の成長につながることでしょ！自分を成長させるために切磋琢磨していきましょう！

★キラキラ輝く二中生★

3年生からバトンタッチした部活動。いよいよ新人大会が間近にせまってきました。先陣をきり、明日は相楽地方秋季新人陸上大会。来週には、すべての運動系部活動が新人大会を迎えます。新チームとしては初めての公式戦。緊張すると思いますが、持てる力を十分発揮し頑張ってください！また、10月17日(土)に開催される山城地方駅伝大会に向け、こちらも毎日遅くまで練習に励んでいます。体調管理には十分気を配り、ベストのコンディションで走れるように調整をしていきましょう！

そして、文化系の部活動の人は、文化発表会に向けての準備ははかどっていますか？さて今年はどうな発表が見られるのか？楽しみにしています♪

様々な場面で活躍する二中生。掲示板には、先生たちからの「いいところ探し」のメッセージもたくさん届いています。また、機会があれば覗いてみてください！



下校後も黙々と練習に励む駅伝部